

英語科学習指導案

場所： 対象：
 指導者 教諭：
 ALT：

1 授業の視点

アメリカに住むALTの母からの質問に対する返信のメールを書くために、ビデオレターを使って実物性を感じるやり取りを盛り込むことは、生徒の手紙を書きたい意欲を高め、既習表現を使って表現させるのに有効であったか。

2 校内研修との関わり

生徒にとって身近な人物の母宛に返信メールを書くという場面を設定し、進んで書きたくなる意欲を高め、必要感をもって取り組むことができると考えた。

3 単元名 Daily Scene 3 メール

4 本時の目標 (1/3時間目)

ALTの母のビデオレターを見て、自分のおすすめの日本の場所や冬休みの予定を含めた返信メールを書くことができるようにするために必要な内容を意欲的に考え、既習の英語で表現しようとしている。

5 準備

(教師) 教科書(東京書籍)、PC、USB (ALTの母のビデオレターの動画)、ワークシート

(生徒) 教科書(東京書籍)、授業用ノート、ジョイフルワーク、英語ファイル

6 本時の展開

時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目
		JTE、ALT	
5分	○あいさつ ○small talk	○英語のあいさつをする。 ○JTEとALTで既習事項を使った身近な話のやり取りをし、JTEやALTと生徒とやり取りする。相手を変えて、1分間ずつペアで会話する。	既習表現を活用し、コミュニケーションをとろうとしている。 【関心・意欲・態度】
15分	○本時のめあてをつかむ。	○ALTの母からのビデオレターを見せて、生徒とALT、JTEとやり取りを通し、自然な流れの中で単元の課題を確認できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ALTの母に、自分のおすすめの日本の場所や冬休みの予定を含めた返信メールを書くことができるようにする。</div>	ALTの母のビデオレターの内容を読み取ることができる。
25分	○本時の活動に取り組む。(ワークシート) ・個人でALTの母への手紙に必要な情報について考える。	○ALTの母のビデオレターの内容を英単語や日本語でメモを取らせ、理解できるようにする。 ・机間支援を行い、分からない生徒に聞き取れた英単語を繰り返し聞かせたり、身振りしたりしながら推測できるようにする。 ・生徒の疑問について、直接ALTが質問に答えるように促す。 ○一度メッセージビデオを見て、「ALTの母はどのようなことを伝えたかったか」について情報を把握するように促す。 ○もう一度ビデオを見て、生徒同士で話し合ったことが正しかったか確認することができるようにする。 ・生徒自身に考えさせるために、まずはモデルを与えずに書かせる活動に臨めるようにする。【試しの活動】* ・机間支援を通し、生徒に個別に支援する。 ・机間支援の中でよい気づきについては全体で取り上げ共有できるようにする。	手紙に必要な情報を考え、積極的に書く活動に取り組んでいる。(ワークシート) 【内容面・言語面】 *試しの活動は、つかむ過程において既習事項だけで単元の課題に取り組む活動のことである。
5分	○本時のまとめ・振り返りをする。	○「ALTの母への手紙に対して、必要な情報について考えられたか」問いかける。 ・何人かの生徒に発表させ、よいところを自分たちのやり取りにフィードバックする。 ・既習表現を活用し、読み手にとって分かりやすい手紙にまとめていけるようにする。	

